

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

異状死の発生に寄与する社会的要因についての疫学研究

1. 研究の対象

2000年1月1日 から 2023年7月9日 までの間に、
基盤診療学系法医学で死因および身元特定のために法医解剖、検案を受けられた方

2. 研究目的・方法

目的 下記の診療情報等を利用し、異状死がどのような状況で起こりやすいか解明することを目的とします。当院において、死後に解剖もしくは検案を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに生前のデータを選び、病歴や生活状況に関する分析を行い、異状死が起こりやすい状況について調べます。

方法 この研究に使用する情報として、診療情報から項目3に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などの個人を直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、個人の情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。研究実施期間は本研究の許可日から2028年3月31日までとなります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・診療情報（年齢、性別、既往歴、生活状況、死因、身体所見、CT情報、血液検査結果）
- ・試料：該当なし

4. 情報の提供先・提供方法

他施設への情報提供は行いません。

5. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

6. お問い合わせ先

東海大学医学部附属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2630）

研究責任者・個人情報管理者・問い合わせ担当者 基盤診療学系法医学 垣本 由布